



今年度の活動報告

- 1 ノーマイカー運動実施報告
- 2 エコスタイルセミナー講演会の実施
- 3 家庭におけるストップ温暖化診断
- 4 光市省エネ活動キャンペーン2021の実施

令和3年度の活動を下記のとおり報告します。引き続きご協力をお願いします。

1 ノーマイカー運動の推進

〈1〉会員一斉ノーマイカー運動の実施結果報告

6月17日(木)、県内一斉ノーマイカーデーの10月15日(金)及び12月16日(木)に会員一斉ノーマイカー運動を実施しました。結果は次のとおりです。

	事業所	団体	個人	削減距離	削減効果
6月	2社	1団体	4名	819km	190.0kg-CO ₂
10月	2社	1団体	4名	691km	160.4kg-CO ₂
12月	2社	0団体	4名	481km	112.0kg-CO ₂
合計	6社	2団体	12名	1,991 km	462.4 kg-CO ₂



※本年度の削減効果(kg-CO₂)は杉の木約30本が1年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。引き続きノーマイカー運動へのご参加と定期的なご報告をよろしくお願いいたします。

〈2〉市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン

光市内に路線網を有する公共交通バスの運賃を半額とし、市域全体での温室効果ガス排出量の削減を目指す事業を光市と協働で実施することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。

2 エコスタイルセミナー講演会の実施

11月11日(木)、あいぱーく光において、エコスタイルセミナー講演会を開催し、協議会員、一般市民を含めて20名が参加しました。

講師には、気象予報士・防災士である坂本京子(さかもときょうこ)氏をお招きし、「気象災害から地球環境について考える」と題した講演をしていただきました。

近年多発している大型の台風や豪雨などの気象災害と地球温暖化のつながりや、災害に備える大切さについて、クイズを交えながらお話いただき、受講者は熱心に聞き入っておられました。



参加者から寄せられた感想等

- ・地球温暖化によって引き起こされる気象災害についての理解を深めることができ、非常に勉強になりました。
- ・気候変動の「適応策」と「緩和策」の両方の視点を持ち、私たちの暮らしを守っていききたいと感じました。
- ・今まで大きな災害が起きていない場合でも、今後は起こりうる可能性があると考え、それに備えるために行動することが重要であると実感することができ、大変貴重な機会となりました。

3 家庭におけるストップ温暖化診断

協議会では、平成18年度から市内の自治会を対象に、各家庭における温暖化診断を実施しています。

本年度は虹ヶ丘7区自治会(173世帯)を対象に診断を実施しました。右表は過去3年間に県内で実施した診断の平均結果と比較したものです。引き続き、診断を実施する地区を募集しています。詳しくは、事務局までご連絡ください。



	虹ヶ丘7区	県平均
総合	3.7	3.8
冷房	3.5	3.4
暖房	3.7	3.6
給湯・風呂	3.9	4.0
冷蔵庫	3.9	3.9
暮らし・娯楽	3.9	4.0
買い物消費	4.0	4.0
自動車	3.4	3.7

※各世帯の取組を5段階(5:よく取り組んでいる~1:あまり取り組んでいない)で評価していただいたものの平均値です。

4 光市省エネ活動キャンペーン2021の実施

家庭の電気使用量の削減率を競う「光市省エネ活動キャンペーン2021」を夏季と冬季の2回実施し、実践的な省エネルギー運動を展開しました。今回は夏季100世帯、冬季101世帯が参加し、そのうち夏季83世帯、冬季82世帯から報告があり、削減に成功した家庭は延べ106世帯となりました。

取組期間中に多様なエコ活動に取り組む企画「エコ活動宣言」では、照明OFFや節水等の取組が多く見られました。新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が長くなる中、できることから実践することが大切だと感じたという声が多くありました。

なお、成績上位世帯には順位に応じてマルキュウグループ商品券を贈呈しました。

参加者から寄せられた感想等

- ・近所は車ではなく、自転車や徒歩で移動しました。
- ・食品ロスを出さないように、必要なものだけを購入し、賞味期限の近いものを選びました。
- ・キャンペーン中は、特に家族でエコ活動できるようにチームワークを楽しんで取り組みました。

